

区分・種別	名勝		
名称	ししまがはら 志島ヶ原		
所在地	今治市桜井		
所有者	綱敷天満宮ほか	管理団体	今治市
指定年月日	昭和16年2月21日		
解説	<p>今治市の南部、燧灘<sup>ひうちなだ</sup>を臨む海岸にある志島ヶ原は、白砂青松の景勝地である。面積10haあまりには老松約3000本がおい茂っている。</p> <p>前面に瀬戸の海、近くには比岐島<sup>ひぎじま</sup>・小比岐島<sup>こひぎじま</sup>・平市島<sup>へいちじま</sup>、遠くに四阪島を望み、背後に唐子山<sup>からこやま</sup>・霊仙山<sup>りょうせんさん</sup>・世田山<sup>せたやま</sup>等の古跡を背負い、遠くに雄大にそびえる石鎚連峰を望むことができる。北は唐子浜、南は桜井の石風呂海岸へ続き、変化の多い松原である。</p> <p>志島ヶ原にある綱敷天満宮<sup>つなしきてんまんぐう</sup>の名は、菅原道真が九州大宰府に流される途中、この地に立ち寄った際、里人が船のとも綱を敷いて迎えたという伝説による。また東端に道真がぬれた衣を干したといわれている衣干岩<sup>きぬほしいわ</sup>などもある。海岸には幕末の安政2（1855）年に黒船来襲に備えて土を壘状に盛った台場跡が見られる。</p>		

